

安全上の注意

※この製品を使用する前に、必ず以下の注意事項をお読みください。以下の注意事項を守らないと、火災や感電、やけどなど重大な事故の原因になります。

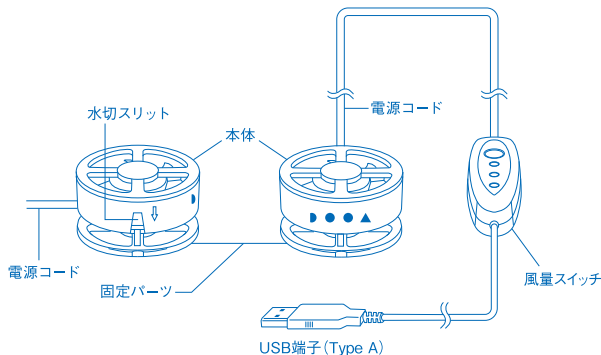
- USBアダプターはコンセントに確実に差し込んでください。USBアダプターは水滴のかかる場所、湿気やほこりの多い場所では使用しないでください。
- 感電の原因となることがありますので、ぬれた手でUSBアダプターをさわらないでください。
- 製品の分解、改造は絶対にしないでください。火災や感電、故障などの原因となります。
- 誤って床に落とすなど、強い衝撃を与えた製品は使用しないでください。火災や感電、故障などの原因となります。
- 必ず使用環境温度(0~35℃)を守ってご使用ください。使用環境温度以外で使用するとう故障の原因となります。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。本体やUSBアダプター、電源コードなどが破損する原因となります。
- 電源コードが破損した状態(芯線の露出や断線など)では絶対に使用しないでください。火災や感電、やけどなどの原因となります。
- 子供の手の届かない場所でご使用ください。

1.サーキュレーションファン 40の特長

サーキュレーションファン 40はシステムバルダ・シリーズなどに設置して空気の循環や換気を使用する小型ファンです。システムバルダ・シリーズでは、側面の穴(Ø40)に外側(吸気用)と内側(排気用)のどちらからでも設置することができ、バルダリウムで栽培する植物の生態に合わせて水槽内の空気の流れや湿度を調節できます。また、ミストフロー(別売)から発生する霧を水槽内に充満させ、雲霧林のような霧が流れる環境を再現することができます。湿度の高い環境でも使用できる防滴仕様で、風量は3段階に調節できます。

2. 各部名称

○本体



※USB電源アダプター(5V1A)は付属しておりません。必要に応じて別途お求めください。

3. 使用方法

育成する植物の特性に合わせてファンを設置します。

〔設置例①〕ステンレスメッシュフタに設置

システムバルダに付属するステンレスメッシュフタの中央のホールキャップを外して、Ø40の穴に吸気する方向で設置します。ミストフロー(別売)と同時に作動することで、ミストタンク内で発生した霧が勢いよく水槽内に流れ出します。
※吸気する方向は本体側面の矢印をご確認ください。

〔設置例②〕水槽側面のファン取付口に設置(吸気)

システムバルダ水槽の側面のホールキャップを外して、Ø40の穴に吸気する方向で設置します。水槽内に風を送り込むことができ、着生ランの仲間などの育成に不可欠な風通しをよくすることができます。また水槽外の湿度の低い空気を引き込むことで、内部の湿度のメリハリをつけることもできます。

〔設置例③〕水槽側面のファン取付口に設置(排気)

システムバルダ水槽の側面にあるØ40の取付口に排気する方向で設置します。ミストフロー(別売)と同時に作動することで、ミストタンク内の霧を水槽内に引き込むことができます。また内部の温度が上がった際に、熱を逃がすこともできます。内部の湿度が高い状態で作動し続ける場合、本体に水がたまることがあるので、水切スリットを下に向けて設置してください。



詳しい使用方法は、QRコードからご覧いただけます。

4.仕様

| | |
|--------|---|
| 消費電力 | 1.4w ±10% |
| 回転数 | 高速:6800回転/分±15% 中速:5600回転/分±15% 低速:4500回転/分±15% |
| 使用環境温度 | 0~35℃ |

5. 使用上の注意

- 本製品のファン部分は防滴仕様になっていますが、風量スイッチやUSBアダプターには水がかからないように注意してご使用ください。また、水中での使用はできません。必ず固定パーツを接続した状態でご使用ください。故障の原因となります。
- 製品の特性上、毎日2時間以上の運転をおすすめします。長時間使用しない場合は、乾燥した場所で保管してください。
- ファンの羽部分に強い力を加えないように注意してください。
- 本製品を高い場所から落下させないでください。内部のベアリングの故障の原因となり、羽の水平性が失われる場合があります。
- 電源コードを本体に巻き付けたり、引っ張ったりしないでください。本体や電源コードの故障の原因となります。
- 本体に埃や虫などの異物が入らないように注意してください。製品寿命が縮んだり、不良の原因になります。
- 作動中に強制的に羽を止めないでください。過熱による故障の原因になります。
- ファンが起動したまま本体を直接床やその他の場所に置かないでください。
- 電源を抜く際には、コードを引っ張らずにUSBアダプターを持って抜いてください。コードを無理に引っ張ると故障の原因となります。
- お手入の際には必ず電源を抜いてください。